

1. 経緯

「『日本の美』総合プロジェクト懇談会」(主催:安倍総理、座長:津川雅彦氏)において、日本人の美意識・価値観を国内外にアピールし、その発展及び国際親善と世界の平和に寄与するための施策の検討等を実施。

2020年の「日本博」については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として日本の全国各地で実施することとされ、第6回の同懇談会(2018年6月22日開催)において、総理から文部科学省・文化庁に対して準備を進めるよう指示。

2. 関連スケジュール

2015年: 「『日本の美』総合プロジェクト懇談会」発足

2016年: 「日本仏像展」(於:イタリア)を開催

2018年: 「ジャポニスム2018」(於:フランス)を開催

2019年: 「Japan 2019」(於:米国), 「響きあうアジア2019」(於:東南アジア)を開催

2020年: 「日本博」(於:日本)を開催

(同年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催)

日本博総合推進会議

議長：内閣総理大臣 議長代理：内閣官房長官
 議長補佐：内閣官房副長官（参）
 構成員：オリパラ大臣、クールジャパン担当大臣、外務大臣、文科大臣、国交大臣、
 小林達雄氏、小松大秀氏、島谷弘幸氏、高階秀爾氏

日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議（仮称）

各省庁間の連携・調整

議長：内閣官房副長官（参）、議長代理：内閣官房副長官補（内政）
 議長補佐（全体総括担当）：文化庁長官、議長補佐（オリパラとの連携担当）：オリパラ事務局長

文化庁 全体統括

オリパラ事務局 知財事務局 まちひとしごと事務局 アイヌ政策室 宮内庁 警察庁 総務省 外務省 国税庁 文科省 厚労省 農水省 経産省 観光庁 環境省

文化庁「日本博」企画委員会

有識者、地方自治体代表、産業界代表、日本博事務局事務総長

適宜助言等

企画の立案・実施への助言

国立文化施設

（独）日本芸術文化振興会
日本博事務局
 企画の立案・実施
 事務総長：理事長

（独）国立文化財機構

（独）国立美術館

（独）国立科学博物館

国立アイヌ民族博物館

国立近現代建築資料館

織田 紘二	伝統芸能制作者, 演出家
河村 潤子	独立行政法人日本芸術文化振興会理事長
熊倉 功夫	一般社団法人和食文化国民会議名誉会長, MIHO MUSEUM 館長
河野 俊嗣	宮崎県知事
コシノジュンコ	デザイナー
小林 達雄	國學院大學文学部名誉教授
小松 大秀	公益財団法人永青文庫館長
小山 薫堂	放送作家, 脚本家
佐藤 雅敏	三井不動産株式会社取締役常務執行役員
島谷 弘幸	九州国立博物館長
高階 秀爾	大原美術館館長
根立 研介	京都大学文学研究科教授

(五十音順, 敬称略, 平成31年3月20日時点)

1 総合テーマ：「日本人と自然」

2 基本コンセプト

「日本の美」は、縄文時代から現代まで1万年以上もの間、大自然の多様性を尊重し、生きとし生けるもの全てに命が宿ると考え、それらを畏敬する「心」を表現してきた。

日本は、景観や風土を大切にし、縄文土器をはじめ、仏像などの彫刻、浮世絵や屏風などの絵画、漆器などの工芸、着物などの染織、能や歌舞伎などの伝統芸能、文芸、現代の漫画・アニメなど様々な分野、衣食住をはじめとする暮らし、生活様式等において、人間が自然にたいして共鳴、共感する「心」を具現化し、その「美意識」を大切にしている。

「日本博」では、総合テーマ「日本人と自然」の下に、「美術・文化財」「舞台芸術」「メディア芸術」「生活文化・文芸・音楽」「食文化・自然」「デザイン・ファッション」「共生社会・多文化共生」「被災地復興」などの各分野にわたり、縄文時代から現代まで続く「日本の美」を国内外へ発信し、次世代に伝えることで更なる未来を創生する。

この文化芸術の祭典が、人々の交流を促して感動を呼び起こし、世界の多様性の尊重、普遍性の共有、平和の祈りへとつながることを希求する。

3 開催時期等

2020年を中心としつつ、その前後の期間も含めて幅広く展開

4 実施にあたってのポイント

2020年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、「日本の美」を体現する美術展・舞台芸術公演・文化芸術祭等を全国で展開。

「縄文から現代」及び「日本人と自然」というコンセプトの下、日本が誇る様々な文化を、四季折々・年間を通じて体系的に展開。

（文化庁を中心に、関係府省庁や文化施設、地方自治体、民間団体等の関係者の総力を結集した大型国家プロジェクト）



オリパラ前、期間中、オリパラ後のインバウンド拡充

訪日外国人の「地方への誘客」の促進

国家ブランディングの確立

〔共通コンセプト〕

縄文から現代

日本人と自然

美術・文化財

舞台芸術

メディア芸術

生活文化・文芸・音楽

食文化・自然

デザイン・ファッション

共生社会・多文化共生

被災地復興

〔主な分野〕

主催・共催型

「総合大型プロジェクト」

「分野別大規模プロジェクト」

「日本博」の中核となる総合大型プロジェクト（国、文化施設、民間団体、事務局等が共同で企画・実施）

「日本博」のテーマ及びコンセプトを加味した大規模な展示・公演等のプロジェクト（全国的な活動を行う団体等が主催）

(イメージ)

- ・縄文から近現代の美術
- ・伝統芸能・現代舞台芸術
- ・メディア芸術
- ・生活文化・文芸・音楽等の複合領域を一つの空間で演出するプロジェクト

(イメージ)

- ・地方自治体や文化関係団体等で一定期間実施するプロジェクト

国は原則一部負担。ただし、被災地との共催、共生社会・多文化共生、最先端技術の導入等に係るものは例外とすることを想定。

公募助成型

「イノベーション型プロジェクト」

各地域や団体の特色ある企画を公募し事業費を一部助成

(イメージ)

地域の特色を生かして新たに企画・実施するプロジェクト

文化関係団体が実施する新規性・創造性が高いプロジェクト

国は原則一部負担。ただし、被災地との共催、共生社会・多文化共生、最先端技術の導入等に係るものは例外とすることを想定。

参画型

各地域や団体の特色ある企画を公募し企画内容を認定

(イメージ)

テーマ、コンセプトに沿う日本を代表するプロジェクト

「日本博」として国内外に発信するものとして相応しいプロジェクト

等

2019年3月3日(日)、国立劇場において、「日本博」の旗揚げ式を開催。
「日本博」ロゴマークの発表や柴山文部科学大臣による開幕宣言などが行われた。

